

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名【新】酒造技術ユネスコ登録等活用県産日本酒海外展開事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 海外展開係 電話番号：058-272-1111(内3812)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,410 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,410	2,170	0	0	0	0	0	0	4,240
決定額	6,410	2,170	0	0	0	0	0	0	4,240

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県内では全国上位の数を誇る酒蔵で、それぞれ個性豊かな日本酒造りがなされているが、近年の物価や人件費の高騰や、原材料である酒米の高騰に自摸なう適正な価格転嫁などの国内情勢への対応に加え、人口減少や若年層の「酒離れ」による日本酒の国内販売市場は縮小への対応などの多くの課題を抱えている。この環境下で、持続可能な県産日本酒の流通販売には、海外市場に目を向けることが必須となっている。そのような中、令和6年度に「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産登録され、海外へのPRを行うにはまたとない機会となっており、この機を逃さず岐阜県の日本酒をPRしていく必要がある。

(2) 事業内容

ユネスコ伝統的酒造り等海外展開事業

- ・県内酒蔵を対象に、物価や人件費等の高騰を踏まえた、安定的な経営と競争力強化をテーマとした対策セミナーを開催
- ・「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、県内日本酒の輸出拡大への更なる支援の一環として海外市場の展示会等での県産日本酒の商談を支援

（３）県負担・補助率の考え方

県内企業がいちから海外販路開拓を行うのはハードルが高い。県が率先して販路開拓のきっかけを作り、海外展開の経験が乏しく、貿易実務に疎い企業等が海外展開に積極的に取り組む呼び水とするため、県事業として実施することが適当である。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	839	海外販路開拓のための出張旅費等
需用費	757	PR用県産品購入等
役務費	474	通訳経費、海外携帯電話通話料等
委託料	4,340	岐阜県産日本酒海外プロモーション委託等
合計	6,410	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - ３ 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - （１）地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信
 - ⑤「『清流の国ぎふ』ブランド」づくり
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
 - ５ 県産品の世界展開
 - （１）県産品の世界展開に向けた販路開拓・拡大支援
- ・第２期SDGs未来都市計画
 - Ⅱ 自治体SDGsの推進に資する取組
 - １ 自治体SDGsの推進に資する取組
 - （２）経済面：「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

（２）国・他県の状況

地域産品の地産外商・輸出拡大・高付加価値化の必要性は、「地方創生2.0基本構想」（R7.6.13閣議決定）における政策５本柱のひとつ「稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～」において示されている。

（３）後年度の財政負担

海外市場を対象とした岐阜県PRプロモーションは、一過性に終わらせるのではなく、現地における認知度やディストリビューター（流通事業者）等からの信頼を得て真のパートナーとなるため、少なくとも３年程度は、継続的に事業を実施する必要がある。

（４）事業主体及びその妥当性

公的機関である県が主体となって海外販路を開拓することにより、海外においても県産品の信頼度が高まり、「岐阜ブランド」の確立に繋がり、訴求力が高まる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業
□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

和食をはじめとした日本文化が人気となっている重点市場を中心に、岐阜県産日本酒の知名度向上、「岐阜県ブランド」の強化及び海外販路開拓につなぐ。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R7)	R7年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
海外向けに新たな取引を実現したのべ事業者数 (社)	-	-	3	6	10	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>近年、経済のグローバル化・ボーダレス化に伴い、県内中小企業の国際化は産業政策上極めて重要な課題となっており、一層の支援強化が必要である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>これまでの海外展開の取組みやネットワークをさらに拡大・充実させ、一部の先進企業だけでなく、モノづくり産地としての底上げに繋げる必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>今後も県のネットワークを継続的に活用して、海外バイヤー等からの信頼を得ながら、一層効果的な商談の機会を創出し、海外販路開拓に意欲のある県内事業者を引き続き支援する。</p>

(他事業と組み合わせる場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>